

平成 21 年 3 月に策定した武蔵野市下水道総合計画では、下水道のニーズに対応していくために、「本市の下水道が目指すもの」と「基本理念」を以下のように定めました。

## 【本市の下水道が目指すもの】

- ・災害に強い安全で安心なまちづくりと良好な都市環境の保全・創出に貢献すること
- ・市民・事業者等とのパートナーシップを高めていきながら、今後 50 年、100 年と安心して下水道を使い続けられること

## 【平成 21 年 3 月総合計画策定時の基本理念】

次世代へつなぐ、暮らし支える下水道

その後、平成 26、30 年度に武蔵野市下水道総合計画の見直しを行いました。基本理念については、当初と変わらずに継承してきました。

法制度の改正や社会情勢の変化があるものの、本市の下水道が市民生活に密着した都市基盤施設としての果たすべき役割や目指すものについては今後も変わることはないため、本計画においても基本理念を継承し、以下を基本理念とします。

## 【基本理念】

### “次世代へつなぐ、暮らし支える下水道”

本市の下水道は、市民・事業者等とのパートナーシップを高めながら、安全・安心なまちづくりや良好な環境の保全・創出に貢献し、安定した下水道経営のもと、50年、100年にわたって市民生活を支え続けます